

毎日採れる

滋賀・大津市

北野信子

ヒマワリの花

東京・世田谷区

宮原栄子(67)

キュウリが毎日採れてうれしい限りです。漬け物、酢の物、そのまま切つてマヨネーズをつけて食べています。この物価高

プランターに植えたヒマワリの種、芽が出たなと思ったら、どんどん伸びて、身長よりも高くなりました。

7月に入って咲きました。すべて、東南方向を向いています。下からがらびって写真を撮りました。

川柳

・星条旗狂気暴君独裁者

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

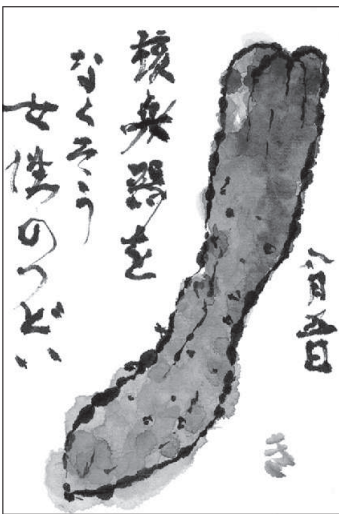
・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ

・夏休み涼を求めて水風呂へ



広島市 宮崎恭子(89)

テーマ

ふと思い立って温泉へ

静岡・浜松市 鈴木美智子(74)

静岡市から安倍川沿いに北上した所にある梅ヶ島温泉へ行きはじめて10年。自宅から車でゆつくり行つても3時間半くらいで着く山の中。四季折々の自然に恵まれ、豊富な湯量の温泉、宿の女将さんの地元の季節の食材

を使つたお料理に身も心も喜ぶ。

年金生活で、お一人様、の私は毎日が日曜日。誰に気兼ねすることなくマイペースで過していても、母の死や自身の大病を乗り越えた自分へのごほうびとして、懐

ファストフード店

札幌市 山崎恵子(70)

一人で行ってみました。かしく、また行きたくなる。まるで実家に帰るような気持ち。友人を誘うことが多い。

一人で行ってみました

読者がつくるページ

た。部屋から見るとそばを向いているようです。(窓は南向き)

また閉店

岡山・瀬戸内市

中村範子

商店街のお店が今月また一つ閉店しました。回らないけどリーズナブルなお寿司屋さんで、家族みんなの記念日などによ

く行きました。大将の年齢から、もう少し大丈夫かな?と思っていました。が、突然の張り紙でのお知らせに残念でたまりました。その張り紙に、お客さんからの「長年お疲れさまでした」の書き込みがあり、悲しいけれどホッとした。

たくさん思い出をありがとう。ありがとうございました。

読者文芸

あなたも詩

瀬野とし 選

風の中で

奈良県 渡部ミツ子

あの頃に思いを寄せて

岐阜県 河合てるみ

看護の大切な役目は環境を整えること。そう指導される養成所の学生たち。何十年も前の看護学生時代。自分たちもそう習った。シーツを整えることもそのひとつ。そして看護婦になり

それはシーツ交換という作業になった。次の仕事を気にしながら急いで。今、現場はどうだろう

すがしい五月の風。両手に受けても何も無い。ぼんやりとして、頭の中は空っぽ。周囲には誰もいない。過去を振り返つても何も残っていない。両親も兄弟みんな逝つてしまった。なぜ私ひとりだけなの?。庭石に腰をおろした。とても冷たい。今日は何をすればいい。胸が苦しく動悸が激しくなる。ああまた不安になり。涙がこぼれた。

朝ドラを観ながらふと若き日にかえった。あなたがいてくれてよかった。その言葉が萎えそうな自分を支えていた。あの頃に:

白南風や百メートルのスタンディング

北海道 橋本喜久子

《評》白南風は梅雨明け後の南風。百メートルにわたる抗議のスタンディングは壮観だ。白南風に後押しされて、連帯と抵抗の広がりを感じる。カーネーションの赤の似合いし米寿かな

東京都 松沢 真子

《評》米寿を迎えた方への敬意と赤の似合いしに齡を重ねても明るく元気な人柄が伝わる。母の日も連想されて、敬意にじむ。

日雷午睡の園児皆起す

兵庫県 古田 誠矢

《評》日雷は晴天に鳴る雷。「午睡」の静けさと「日雷」の突然の大きな音の対比がおもしろい。雷に驚いて一斉に起きる園児たちの混乱の様子まで感じられる。

青葉風たたかう八十路の深呼吸

大阪府 山崎 万里

《評》八十路は体力の衰え、病、孤独、日々の不自由など様々な現実があるが、作者の「たたかう」と言い切ったところに芯の強さ、前向きな気

迫が伝わる。

子らの声響く公園梅雨晴れ間

東京都 丸山 浩子

《評》梅雨の晴れ間に公園に戻ってきた子どもたちの活気がよく伝わり、子らの声から風景が見える。

禅堂に警策ひびく梅雨の音

京都府 山田 フサ

《評》警策は座禅の打ち棒。禅堂の緊張感とつゆの雨音の対比。「音」の重複は表現の工夫を。

万緑を大きく撫でる鳥の群れ

京都府 木村喜代美

ひっそりと雨に紫陽花けふの色

島根県 竹谷 早苗

緑陰や話尽きぬ夕間暮

徳島県 今井千枝子

奥飛騨の宿の出迎え山法師

愛知県 石原 愛子

《作品募集》ハガキなどで編集部「あなたも俳句」係まで。作品は未発表のものに限ります。

おてんき てんきII RANKO

(2059)

